

# IEEE International Workshop on Intelligent Robots and System '90

IEEE IROS'90日本支部

日本支部長 後藤達生

(平成元年度国際会議等開催準備助成 AF-89029)

1. 開催日時：平成2年7月3日～6日

2. 開催場所：茨城県土浦市神立町 他

### 3. 開催会議に対する成果：

本助成金により国際会議準備段階の各種印刷物を作成することが出来、広く、世界の先進的な研究者に国際会議の開催について開催案内を送りPRすることが出来た。その結果発表論文数約140件(内 海外約80件)、参加者約300人と質、規模ともにハイレベルの国際会議とすることが出来た。会議では最新の研究成果が数多く発表され、活発な討論が行なわれた。

### 4. 国際会議 IROS'90 実施報告

貴財団より助成金を頂いて実施致しましたIEEEの国際ワークショップIROS'90の実施結果について下期の通り報告致します。

#### 記

1) 実施期間：平成2年7月3日～7月6日

2) 実施場所：

(1) チュートリアルレクチャー

東京理科大学記念講堂(東京都新宿区神楽坂1の3)

(2) ワークショップ

株式会社日立制作所機械研究所(茨城県土浦市神立町502番地)

3) 実施内容

(1) チュートリアルレクチャー

①非正常環境でのロボットマニピュレーション

ン(ペンシルバニア大学R.ポール教授)

②自律ロボットにおける空間的推論(スタンフォード大学J.ラトンベ教授)

③脚走行ロボットにおけるメカニズム及び制御アルゴリズム(マサチューセッツ工科大学M.レイバート教授)

ロボットの手、足、頭の各項目に関する研究開発の最先端の状況等について、上記の3件のレクチャーが行われ、質疑、討論も活発に行なわれた。

#### (2) ワークショップ

今回のワークショップでは、各テーマに応じて一般セッション、オーガナイズドセッション、ラウンドテーブルセッションの3方式で合計30のセッションに分かれて、それぞれ最新の成果についての発表が行われた。中でも宇宙用、農業用、医用ロボットのセッション及び自己進化型ロボットのセッションでは、参加者が会場からあふれるほどの盛況であった。その他、運動計画、ニューラルネットワーク等他の各セッションにおいても、早朝から夕方遅くまで長時間にわたって、世界の第一人者から新進の若手研究者まで、へだたりなく熱のこもった議論が展開された。セッション終了後もコーヒーブレイクの場所などでさらに議論を続けている風景も多く見られ、本ワークショップが知能ロボット及びシステムの分野に関する研究活動の促進あるいは活性化に、大いに貢献できたものと確信している。

4) 参加者等

(1) 発表論文数：137件(海外82件、国内55件)

(2) 参加者数：304人(内 海外13ヶ国106人)

……………国別内訳は下記のとおり)

国名	参加者数
日本	198人
U S A	42
フランス	20
西ドイツ	8
韓国	8
イギリス	7
イタリア	6
その他	15

以上。